

# 築山遺跡でみつかった小円墳群と 上塩冶築山古墳について

## 1. 上塩冶築山古墳の周囲に削平された円墳群があった(新発見・山陰初)

これまで、上塩冶築山古墳は単独で存在すると考えられていた。

今市大念寺古墳や上塩冶地藏山古墳も同じ。

**山陰地方で、大型古墳の周囲に円墳群が数多く造られた古墳群は知られていない。**

## 2. 円墳群は上塩冶築山古墳とほぼ同じ時期に造られた。次々と

出土した土器や副葬品から、1号墳が古く、2号墳が新しい。

2号墳は上塩冶築山古墳とほぼ同じ頃に造られた。

1号墳は上塩冶築山古墳より古い。

## 3. 規模は小さいが副葬品はかなり優秀かつ豊富である

1・2号墳の大型耳環。

40個以上の玉類、金ピカの馬具、金銀に輝く大刀(2号墳)。

これらは、墳丘規模が30m(円墳)や50m(前方後円墳)の古墳に匹敵。

## 4. 古墳時代後期(6世紀、なかでもその後半)の出雲を考える上で

### きわめて重要な発見

6世紀後半の出雲は東西に大型古墳が造られた。

**西**の今市・塩冶古墳群(前方後円墳と円墳、最大は今市大念寺古墳92m)

**東**の山代・大庭古墳群(前方後方墳と方墳、最大は山代二子塚古墳94m)

いずれも、大型古墳はほかの中小古墳からは独立して築造されている。

大型古墳の下に、中型古墳と小型古墳がある。中小古墳は群をなすことがある。

## 5. 今後の課題と期待